

新潟市環境優良事業者等認定制度（3R推進部門）現地調査報告書

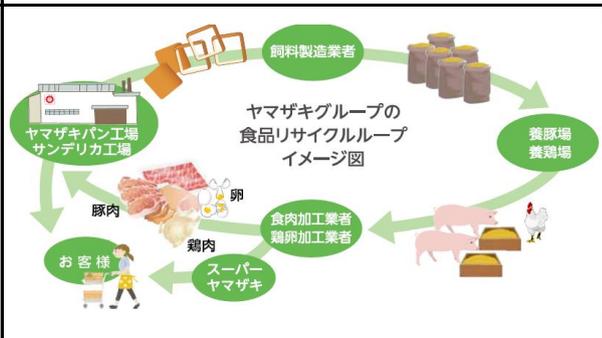
申請者	認定番号	61
	名称	山崎製パン株式会社 新潟工場
	所在地	新潟市江南区二本木4-12-8
	担当者	総務課 諸橋 紀幸
	連絡先	025-382-2211
	業種	製造
調査日		2022年5月20日

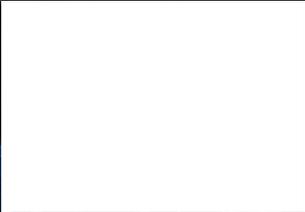
点数	リデュース	7	/11点
	リユース	4	/5点
	リサイクル	7	/7点
	社内体制	17	/17点
	合計点	35	/40点

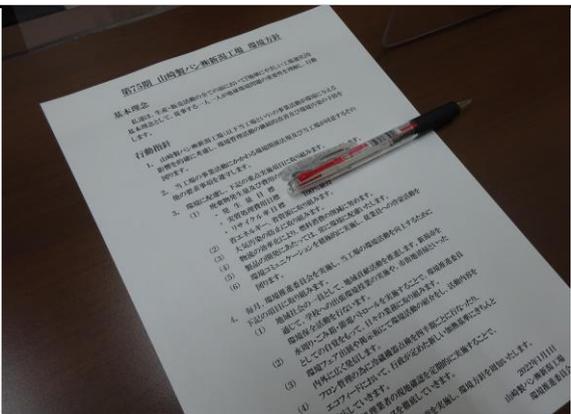
項目	細目	取組内容	評価点	採点
リデュース (発生抑制)	プラスチック類	1-01 ワンウェイ（使い捨て）プラスチックの使用を削減している。	1	<input checked="" type="checkbox"/>
		1-02 再生材やバイオマスプラスチックを用いたものを使用している。	1	<input checked="" type="checkbox"/>
		1-03 マイ箸・マイボトルの使用を推奨し、使い捨て製品を削減している。	1	<input type="checkbox"/>
		1-04 施設内の消耗品は詰め替え式を購入している。	1	<input checked="" type="checkbox"/>
	紙類	1-05 O A用紙等は両面印刷や縮小印刷等を行っている。	1	<input checked="" type="checkbox"/>
		1-06 事務文書は電子掲示板やメール、回覧等により共有している。	1	<input type="checkbox"/>
		1-07 会議資料のペーパーレス化を行っている。	1	<input type="checkbox"/>
		1-08 顧客への文書等は紙での送付を控え、電子メール等で送付している。	1	<input checked="" type="checkbox"/>
	生ごみ	1-09 生ごみの水切りを行っている。	1	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	1-10 顧客に対して使い捨て用品の提供をしていない。	1	<input type="checkbox"/>
		1-11 商品の簡易包装に努めている。	1	<input checked="" type="checkbox"/>
リユース (再使用)	消耗品等	2-1 使用済み封筒、ファイル、段ボールを繰り返し使用している。	1	<input checked="" type="checkbox"/>
		2-2 ミスコピー紙や不用となった片面コピー紙は、裏紙を利用し、コピー用紙やメモ用紙にするなどしている。	1	<input checked="" type="checkbox"/>
		2-3 不用になった事務用品は他部署と譲り合っている。	1	<input checked="" type="checkbox"/>
		2-4 商品納入時に通い箱・袋を使用している。	1	<input checked="" type="checkbox"/>
		2-5 機器は修理などにより長期使用に努めている。	1	<input type="checkbox"/>

(再生利用)	プラスチック類	3-1	ペットボトル、発泡スチロール、食品トレイ等のプラスチック類をリサイクルにまわしている	1	<input checked="" type="checkbox"/>
	古紙類	3-2	古紙類を分別し、リサイクルにまわしている。	1	<input checked="" type="checkbox"/>
	缶・びん	3-3	缶・びんを分別し、リサイクルにまわしている	1	<input checked="" type="checkbox"/>
	生ごみ	3-4	食品廃棄物をリサイクルにまわしている。	1	<input checked="" type="checkbox"/>
	再生品等の利用と提供	3-5	紙類に再生紙を利用している。	1	<input checked="" type="checkbox"/>
		3-6	事務用品にグリーンマークやエコマークのある再生品を利用している。	1	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	3-7	施設において資源化可能なものを回収している	1	<input checked="" type="checkbox"/>
ごみ減量に向けた社内体制	組織的取り組み	4-1	OA用紙の使用量を把握し、削減の目安にしている。	2	<input checked="" type="checkbox"/>
		4-2	分別種類に応じた回収容器を置き、分別を徹底している。	2	<input checked="" type="checkbox"/>
		4-3	ごみや資源物等の保管場所には、分別種類ごとに保管できるよう十分なスペースを確保している	2	<input checked="" type="checkbox"/>
		4-4	ごみの出し方など廃棄物を管理する部署や責任者を設置している。	2	<input checked="" type="checkbox"/>
		4-5	組織として目標を立て、継続的にごみ減量・資源化に取り組む体制が整っている。	2	<input checked="" type="checkbox"/>
		4-6	ごみや資源物の発生量や資源化量を把握している。	2	<input checked="" type="checkbox"/>
		4-7	従業員等に対しごみの出し方に関する情報を定期的に提供している。	2	<input checked="" type="checkbox"/>
		4-8	SDGsのゴールを意識し、組織として目標設定や取り組みを行っている。	3	<input checked="" type="checkbox"/>
評価点合計					35

項目	取組状況詳細	
	写真	コメント
1-01	ワンウェイ（使い捨て）プラスチックの使用を削減している。	納品の際は、段ボール等を使わず、番重（運搬容器）を使用している。
1-02	再生材やバイオマスプラスチックを用いたものを使用している。	販売店に提供する袋はバイオマスプラ袋を使用。
1-08	顧客への文書等は紙での送付を控え、電子メール等で送付している。	給与明細等を紙から電子へ切り替え。

1-09	生ごみの水切りを行っている。			社員食堂で生ごみ水切りを行っている。
1-11	商品の簡易包装に努めている。	<p>食パン1斤袋の薄肉化とサイズ見直し</p> <p>食パン1斤袋のフィルムの厚さを見直し、製品1個当たりの容器包装重量を約7%削減しました。さらに、食パン1斤袋の高さの適正化を図り、製品1個当たりの容器包装重量を約4%削減しました。これにより年間約350トンを削減しました。</p>  <p>製品例</p>	<p>主力菓子パン使用フィルム包装の薄肉化</p> <p>菓子パンをはじめとする製品のフィルム包装の厚さを見直し、製品1個当たりの容器包装重量を約7%削減し年間約520トンを削減しました。</p>  <p>製品例</p>	包装紙の厚さ、サイズの適正化により容器包装重量を削減。
2-1	使用済み封筒、ファイル、段ボールを繰り返し使用している。			他工場とは連絡袋でやりとり。
3-4	食品廃棄物をリサイクルにまわしている。		食品廃棄物を堆肥化・飼料化している。新潟工場では、バナナの実も堆肥化、それ以外は飼料化している。豚の飼料の場合は、豚コレラの関係で、熱処理できる業者でなければならない。	
3-7	施設において資源化可能なものを回収している。	 <p>2020年は約9万5千枚の番重を再資源化</p>	一斗缶、未使用包装材、番重など。汚れていない容器包装は有価で業者引渡しができるため、きっちり分別している。	
4-1	OA用紙の使用量を把握し、削減の目安にしている。		月次で開かれる環境推進委員会で数値が報告され、改善検討がされる。	

4-2	<p>分別種類に応じた回収容器を置き、分別を徹底している。</p>			
4-3	<p>ごみや資源物等の保管場所には、分別種類ごとに保管できるように十分なスペースを確保している。</p>			
4-4	<p>ごみの出し方など廃棄物を管理する部署や責任者を設置している。</p>			
4-5	<p>組織として目標を立て、継続的にごみ減量・資源化に取り組む体制が整っている。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・ JFS（日本発の食品安全マネジメント規格）-B ver.2.0 ・ AIB（米国製パン研究所）国際検査統合基準
4-6	<p>ごみや資源物の発生量や資源化量を把握している。</p>			<p>計量スペース。発生量は環境委員会でも共有される。</p>

<p>4-8</p>	<p>SDGsのゴールを意識し、組織として目標設定や取り組みを行っている。</p>		<p>環境推進委員会を設置し、環境方針を示している。月次で開催し、廃棄量実績などを共有し改善検討している。係長等が定期的に工場内のパトロールを行い、工場内のごみの分別や節電の指導、汚泥抑制に向けたフィリング等の廃棄状況調査指導を継続して実施している。また、工場前清掃等も行っている。</p>
<p>4-8</p>	<p>SDGsのゴールを意識し、組織として目標設定や取り組みを行っている。</p>		<p>トキの森プロジェクトに参加。カーボンオフセット制度を利用。</p>
<p>4-8</p>	<p>SDGsのゴールを意識し、組織として目標設定や取り組みを行っている。</p>		<p>小学生に環境授業を行い、食品ロスについて伝えている。</p>